

No.19-81

2019年11月5日
エーザイ株式会社

EZH2 阻害剤タゼメスタットについて 日本以外の地域における売上ロイヤルティ受領の権利を Royalty Pharma に譲渡

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、このたび、抗がん剤として開発中のタゼメスタット(一般名)について、日本以外の地域における売上に応じたロイヤルティ受領の権利を Royalty Pharma(本社:米国ニューヨーク州)に譲渡する契約を締結したことをお知らせします。

タゼメスタットは、Epizyme, Inc.(本社:米国マサチューセッツ州、以下 Epizyme 社)が創出したファースト・イン・クラスの経口 EZH2 阻害剤です。当社は、2015年3月に改定した Epizyme 社との契約にて、日本におけるタゼメスタットの開発、商業化を担うとともに、日本の売上に応じたロイヤルティを Epizyme 社に支払うことが規定されています。一方、Epizyme 社は、日本以外の地域における開発および商業化を担うとともに、開発の進捗および承認取得に応じたマイルストーンペイメント、ならびに日本以外の地域における売上に応じたロイヤルティを当社に支払うことが規定されていました。

今回の Royalty Pharma との契約では、日本以外の地域における売上に對する Epizyme 社からのロイヤルティ受領の権利を Royalty Pharma に譲渡します。その対価として当社は、一時金 110 百万米ドルを受領します。また、米国において本剤の承認が取得された場合、最大 220 百万米ドルを受領する権利を取得します。

当社は、がん領域を重点領域の一つと位置づけており、がんの「治癒」に向けた革新的な新薬創出をめざしています。本契約によって得られた資金を含む経営リソースの有効活用により、最先端のがん研究に基づく創薬を加速し、がん患者様とご家族、さらには医療従事者の多様なニーズの充足とベネフィット向上により一層貢献してまいります。

以上

参考資料

1. タゼメスタット(一般名、開発コード:E7438、Epizyme 社の開発コード:EPZ-6438)について

タゼメスタットは、Epizyme 社が独自の創薬プラットフォームから創製したエピジェネティック関連酵素 EZH2 を標的とするファースト・イン・クラスの経口低分子阻害剤です。EZH2 は遺伝子発現を調節するヒストンメチル基転換酵素を構成するタンパク質の一つであり、細胞増殖の調節機能を持っていることから、発がんに関わる重要な役割を担っていると考えられています。

日本においては、当社が B 細胞性非ホジキンリンパ腫を対象とした臨床第 II 相試験を実施中です。

2. Royalty Pharma について

1996 年に設立された Royalty Pharma は、160 億ドルを超えるロイヤルティ資産を有するロイヤルティビジネスのリーディングカンパニーです。Royalty Pharma は、ライフサイエンスのイノベーションに直接および間接的に資金を提供しています。直接的には、ライフサイエンス企業と提携のもと、後期臨床試験において共同開発および共同出資します。間接的には、オリジナルのイノベーター(アカデミック、病院、財団、発明者など)から既存のロイヤルティ権益を取得します。同社のロイヤルティ権益には、AbbVie と J&J の Imbruvica、アステラスと Pfizer の Xtandi、Biogen の Tysabri、Gilead の HIV フランチャイズ、Merck の Januvia、Novartis の Promacta、Vertex の嚢胞性線維症フランチャイズなど、50 を超える承認済み製品のロイヤルティ権益が含まれています。Royalty Pharma は、2011 年以來、承認取得前の製品のロイヤルティに 40 億ドル以上を投資し、ロイヤルティと引き換えに 9 億ドル以上の直接研究開発資金提供にコミットしています。Royalty Pharma の詳細については、www.royaltypharma.com をご覧ください。